

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管局・部・課	都市ブランド創造局総務文化部文化企画課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

指定管理施設	名 称	北九州市立大手町練習場	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州市小倉北区大手町11番4号		
	設置目的	演劇、音楽その他の利用に供することにより市民文化の向上に資する。		
利用料金制の状況		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
指定管理者	名 称	公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団		
	所 在 地	北九州市小倉北区室町一丁目1番1号		
指定管理業務の内容		・施設の管理運営 ・貸館業務		
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日		

【参考：評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準・目標・計画を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準・目標・計画を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

2 評価結果

評価項目	指定管理者 の自己評価	市（所管局） の評価	市（所管局）の評価理由 ※指定管理者の自己評価との 相違理由 など	配点	得点 （評価結果）
	（評価レベル：0～5）			（100点満点）	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				35	35
（1）施設の設置目的 の達成	5	5	利用件数・稼働率ともに目標を大きく上回ったため。 （利用件数対目標比：117.4%、稼働率対目標比 117.6%）	20	20
（2）利用者の満足度	5	5	利用者の満足度について目標を上回り高い水準を達成しているため。	15	15
2 効率性の向上等に関する取組み				45	29
（1）経費の低減等	3	3	物価の高騰等により、人件費や備品・消耗品費用が増額する中、仕入れ管理を適切に実施し、コスト削減に努めることで計画通り適切に管理されているため。	35	21
（2）収入の増加	4	4	施設使用料が前年度収入額を上回る高い水準となったため。（対前年比 106.6%）	10	8
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				20	14
（1）施設の管理運営 （指定管理業務） の実施状況	4	4	貸館が主たる業務である施設運営を行う中で、ジュニアオーケストラの練習拠点施設として必要な調整を行うだけでなく、他団体との交流機会の創出に貢献している点が高く評価できる。	10	8
（2）平等利用、安全 対策、危機管理体制 など	3	3	大手町ビルで実施される年2回の防災・避難訓練への全員参加や事務所カメラを活用した練習室のリアルタイム安全確認等、多層的な安全管理体制のもと適切に管理されているため。	10	6
【参考：総合評価ランク】 A：優れていると認められる（80点以上） B：やや優れていると認められる（70点以上80点未満） C：適正であると認められる（60点以上70点未満） D：努力が必要であると認められる（50点以上60点未満） E：かなりの努力が必要であると認められる（50点未満）				合 計	100
				総合評価ランク （A～E）	B

【総合評価】 ※指定管理者の特筆すべき功績及び努力を求める点等を踏まえ、総括的に記入してください。

○施設の管理運営は、施設の設置目的に沿って適正に行われた。
 ○ネット予約が苦手な利用者層への配慮や利用申請時の使用目的・人数・楽器の種類等に
 適した案内や助言の実施等、利用者へのきめ細かなサービスを行い利用者の信頼確保に努
 めている。その結果、施設の利用件数や稼働率・利用者満足度は高い水準を達成しており、
 高く評価できる。
 ○SNSを活用した利用者活動情報の発信等を通じて利用促進に取り組み、新規利用者の
 獲得に努めており、施設使用料収入が増加していることは高く評価できる。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

休館施設のグランドピアノを移設・活用するなど、指定管理者自らの提案と柔軟な対応に
 より、利用者満足度の向上につながる取組みを行っている。今後も市と指定管理者と協働
 で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

<参考> 現指定期間中の評価結果

区 分	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)	平 均
評価結果 (合計得点)	78	—	—	—	—	78

※高評価のインセンティブ（更新制）について

- ▶1～3年目の平均点が75点以上の指定管理者（指定期間5年間の事業者に限る）
 について、1期に限り指定の更新（+5年間）を認めるもの。

※低評価のペナルティ（次期選定時の減点）について

- ▶最終年度を除く全指定期間中の平均点が59点以下の指定管理者について、同指
 定管理施設の次期選定時の審査において減点（総合得点から10点または15点
 をマイナス）するもの。

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	北九州市立大手町練習場
	所 在 地	北九州市小倉北区大手町 1 1 番 4 号
指定管理者 （自己評価者）	名 称	公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団
	所 在 地	北九州市小倉北区室町一丁目 1 番 1 号
指定期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 1 2 年 3 月 3 1 日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
なし	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
自主事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
清涼飲料水等自販機の設置	☒	○	
施設利用者用コピー機の設置	☒	○	
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価																																									
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み																																											
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)																																									
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。 ② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。 ③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。 ④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		5																																									
【評価の理由、要因・原因分析】																																											
① 施設の管理運営は適切に行った。 なお、利用件数・稼働率については、下記のとおり算出方法が変更している。 【前指定期間（平成31年度～令和6年度）】 1日の予約枠（全13区分）を3区分（午前1、午後、夜間）単位に分けて、各区分で1件でも利用があれば稼働（利用1件）とみなし、稼働1コマとカウントしている。 【現指定期間（令和7年度～11年度）】 1日の予約枠（全13区分）単位とし、各予約枠で1件でも利用があれば稼働（利用1件）とみなし、稼働1コマとカウントしている。 令和7年度の利用件数・稼働率の実績は以下のとおりである。 【利用者数】※R6年度の（）書きは、R7年度と同様の利用件数・稼働率の計算方法で算出した場合の参考値																																											
<table><tr><th>年度</th><th>要求水準/目標/実績</th><th>利用件数</th><th>稼働率</th></tr><tr><td rowspan="3">R6年度 (更新前)</td><td>要求水準</td><td>7,000 件</td><td>52%</td></tr><tr><td>目標</td><td>7,200 件</td><td>56.9%</td></tr><tr><td>実績</td><td>8,768 件(25,478 件)</td><td>76.6%(51.35%)</td></tr><tr><td rowspan="3">R7年度 (1年目)</td><td>要求水準</td><td>21,700 件</td><td>43%</td></tr><tr><td>目標</td><td>21,700 件</td><td>43.7%</td></tr><tr><td>実績</td><td>25,467 件</td><td>51.4%</td></tr><tr><td rowspan="3">R8年度 (2年目)</td><td>要求水準</td><td>21,700 件</td><td>43%</td></tr><tr><td>目標</td><td>21,800 件</td><td>43.9%</td></tr><tr><td>実績</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2">R9年度 (3年目)</td><td>要求水準</td><td>21,700 件</td><td>43%</td></tr><tr><td>目標</td><td>21,900 件</td><td>44.0%</td></tr></table>			年度	要求水準/目標/実績	利用件数	稼働率	R6年度 (更新前)	要求水準	7,000 件	52%	目標	7,200 件	56.9%	実績	8,768 件(25,478 件)	76.6%(51.35%)	R7年度 (1年目)	要求水準	21,700 件	43%	目標	21,700 件	43.7%	実績	25,467 件	51.4%	R8年度 (2年目)	要求水準	21,700 件	43%	目標	21,800 件	43.9%	実績	-	-	R9年度 (3年目)	要求水準	21,700 件	43%	目標	21,900 件	44.0%
年度	要求水準/目標/実績		利用件数	稼働率																																							
R6年度 (更新前)	要求水準	7,000 件	52%																																								
	目標	7,200 件	56.9%																																								
	実績	8,768 件(25,478 件)	76.6%(51.35%)																																								
R7年度 (1年目)	要求水準	21,700 件	43%																																								
	目標	21,700 件	43.7%																																								
	実績	25,467 件	51.4%																																								
R8年度 (2年目)	要求水準	21,700 件	43%																																								
	目標	21,800 件	43.9%																																								
	実績	-	-																																								
R9年度 (3年目)	要求水準	21,700 件	43%																																								
	目標	21,900 件	44.0%																																								

	実績	-	-
R10年度 (4年目)	要求水準	21,700 件	43%
	目標	22,000 件	44.3%
	実績	-	-
R11年度 (5年目)	要求水準	21,700 件	43%
	目標	22,100 件	44.5%
	実績	-	-

※ ・・・評価対象年度

利用件数は25,467件（目標比117.4%）、稼働率は51.4%（目標比117.6%）となった。要因として、ネット予約ができない利用者を対象として電話による仮予約受付を実施する等、利用者の立場に立ったきめ細やかな対応の継続が考えられる。

来場者満足率については後述（２）①のとおり。

令和7年度は、新指定管理期間の初年度として、電話による仮予約受付、定期利用制度、キャッシュレス決済等、利用者の利便性向上に向けた取り組みを継続するとともに、北九州市ジュニアオーケストラの拠点施設として、同運営委員会と連携した支援も継続した。前年度に引き続き、市民のための数少ない舞台・音楽練習施設として、幅広い芸術文化活動を支援した。

② 利用者の利便性を高めるため、以下に取り組んだ。

- 電話による施設の仮予約受付を継続し、再利用者の申請手続きの省力化に対応
- 安定した練習室・練習日を確保するため、一定の条件を満たす利用者を対象とした「定期利用制度」を継続実施
- キャッシュレス決済（PayPay）を引き続き実施
- 利用申請の際、使用目的・人数・楽器の種類等に適した練習室の案内や各種助言を実施
- 発表会会場としての利用について、事例紹介やレイアウト相談対応等を実施し、多様な利用形態の普及に取り組んだ

③ 該当なし（大手町練習場は単独施設であり、複数施設の一括管理には該当しない。）

④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動として、以下に取り組んだ。

- 新規利用者の需要への対応や継続利用獲得等の取組みを通じた、利用者・関係団体等の口コミなどによる施設のPR・利用促進
- 財団SNSを活用し、利用者の活動風景や定期演奏会等の情報を発信。利用者の広報支援と練習場の認知度向上を兼ねた情報発信を継続
- 財団が発行する情報誌・事業パンフレットを活用し、北九州芸術劇場・響ホールと連携した当施設の紹介を実施
- ホームページによる施設案内の継続的な更新・改善
- 発表会会場としての利用を幅広く呼びかけ、新たな利用形態の開拓を推進

（２）利用者の満足度

評価レベル
(0～5)

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。

5

- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 令和7年度のアンケート結果は以下のとおりである。

【満足度】	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
要求水準	—	95%	95%	95%	95%	95%
目標	98%	95%	95%	95%	95%	95%
実績(総合満足度)	97%	100%	—	—	—	—
館内の清潔度	100%	100%				
設備・機器の安全性	100%	100%				
スタッフの対応	100%	100%				

※実績以下のアンケート結果は、回答が無いものを除く

【アンケート回収率】	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
目標	95%	95%				
実績	90%	96%				
回収数	37 件	53 件				

※ R 7年度・・・評価対象年度

アンケートの回収率は96%、総合評価「満足層」の割合は100%となった。要因として、窓口対応時等の際、利用者の意見・要望を聞き取り、改善に向け具体的・継続的に取り組んだ結果が反映されたものと考えます。

回答内容を個別に見ると、「館内の清潔度」「設備・機器の安全性」「スタッフの対応」に対する評価が前年度に引き続き高い水準を維持した。

- ② 利用者アンケートの結果を精査し、改善のための資料として活用した。通常利用者のアンケートに加え、年間定期利用団体からのアンケートを引き続き実施し、意見・要望を把握した。また、窓口対応時の会話を大切にし、利用者の意見・要望を聞き取

り、施設の利用改善に努めた。	
③ 利用者からの苦情・要望対応として、以下に取り組んだ。	
○利用者からの要望が高かったグランドピアノを小練習室2に設置	
○使用頻度の高いピアノ補助ペダルと背付きピアノ椅子を各1台購入	
○調律について苦情があった小練習室のアップライトピアノについてキャッチャー交換を実施	
また、施設内で解決できない内容については、大手町ビル管理者や関係部署と協議を行い、実現可能となるよう努めた。	
④ 利用者への情報提供として、以下に取り組んだ。	
○施設利用案内パンフレットを常時窓口に配置	
○財団ホームページに大手町練習場のページを設置し、空き状況や利用手続き・料金等の情報を常時提供	
○窓口や電話での相談に対し、懇切丁寧な情報提供を実施	
○発表会会場としての利用について、事例紹介やレイアウト相談対応等を実施	
⑤ サービスの質を維持・向上するための取組みとして、以下に取り組んだ。	
○職員の接遇研修（職場内接遇研修）の実施	
○室内レイアウトの相談に応じ、ピアノ等の位置のアドバイスを実施	
○気持ちよく利用できるよう、利用前の床・ピアノ等備品の状況点検を実施	
○障害のある方や年長者等の利用者には、職員が準備・片付けのサポートを実施	

2 効率性の向上等に関する取組み							
(1) 経費の低減等		評価レベル (0～5)					
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。		3					
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
【評価の理由、要因・原因分析】							
① 令和7年度指定管理期間初年度として、以下の収支状況となった。							
(単位：千円)							
【支 出】		R6年度 (更新前)	R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)
管理 運営費	計画	21,555	23,955	24,114	24,114	24,114	24,114
	実績	21,555	23,955	—	—	—	—
前年度との比較		—	2,400				

※ R7・・・評価対象年度

指定管理料の実績額は23,955千円となった。前年度比で2,400千円の増となっており、これは指定管理期間の更新時に上限額が引き上げられたことによるもの。

経費低減のため、以下の取組みを行った。

○軽易な修繕については大手町ビルの防災センター設備職員と協力し、指定管理者が実施することで、維持管理費を削減

○備品・消耗品の仕入れ管理を適切に実施し、消耗品のコストを削減

○光熱水費は大手町ビル管理者と共同で節減を徹底し、こまめな消灯・節水を実施

○利用者がいない時間帯は練習室内の照明を消灯し省エネを実施

○施設のロビーや廊下の照明は利用者の理解を得て節減し、クールビズ・ウォームビズの励行等、省エネを継続

② 建物の維持管理業務は、大手町練習場が入居している大手町ビル全体で一括契約を行っているため、施設が常に良好な状態を維持できているか確認し、点検の実施確認・結果報告を確実に求めた。

施設内の楽器等の保守点検業務及び夜間受付業務については、専門的技術を有する業者・団体に再委託を行い、適宜契約内容の見直しを行った。

○楽器保守：ヤマハ CFⅢ・C7A、カワイ RX3・NX50A・US8C 等を専門業者（株ミュージックストアナガト・株河合楽器製作所・株コンサート技研）に委託

○夜間受付業務：公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会に委託（高齢者雇用の促進にも貢献）

③ 指定管理料を収入として使用目的ごとに適正予算を策定し、計画的に執行した。概して効果的かつ効率的な執行がなされた。

(2) 収入の増加							評価レベル (0～5)
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。							4
② 使用料（利用料金）収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入（例：協賛金など）を獲得できているか。							
③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。							

【評価の理由、要因・原因分析】

① 広報の強化やサービスの向上の取り組みをはじめ、定期利用制度の継続実施・電話仮予約の継続によるリピーター確保、財団SNSを活用した利用者活動情報の発信等を通じて利用促進に取り組んだ。

その結果、施設使用料収入は17,227千円（前年度比106.6%）となった。これは、新規の定期利用者の増加等によるものである。

(単位：千円)

【収 入】		R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
指定管理 料収入	計画	21,555	23,955	24,114	24,114	24,114	24,114
	実績	21,555	23,955	—	—	—	—

(単位：千円)

【施設使用料】		R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1 年目)	R 8年度 (2 年目)	R 9年度 (3 年目)	R 10年度 (4 年目)	R 11年度 (5 年目)
施設使用	実績	16,156	17,227	—	—	—	—
料収入	前年度比較	—	106.6%	—			—

※ ・・・評価対象年度

② 自主事業として、清涼飲料水等自動販売機（1 台）及び施設利用者用コインデポジット式コピー機（1 台）を大手町練習場 9 階事務室前ロビーに設置し、利用者の利便性向上と自主事業収入の確保を図った。

【自主事業における収入】		R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1 年目)	R 8年度 (2 年目)	R 9年度 (3 年目)
自動販売機 設置事業収入	実績	244	197	—	—
コピー機 設置事業収入	実績	252	227	—	—

※ ・・・評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	4
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。	
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	
【評価の理由、要因・原因分析】	
① 施設管理責任者として音楽事業課長（兼務）を、事務職員の労務管理者として音楽事業担当課長（兼務）を配置し、場長を中心に業務を遂行した。業務が適切かつ効率的・効果的に実施できるよう、早出・中出勤務の 2 交代シフトと夜勤専門派遣職員の配置を基本とした体制で管理業務を行い、年間を通じて開館時間に対応した利用者へのサービス提供体制を確保した。	
② 職員の資質・能力向上を図るため、以下の研修を実施した。 ○職場内接遇研修の実施 ○新規採用者研修の実施 ○管理職による職員面談・ストレスチェック・産業医講話の実施によるメンタルサポート ○社会人スキルアップ研修（コミュニケーション・組織運営等）の実施	
③ 地域や関係団体との連携・協働として、以下の取り組みを行った。 ○北九州市ジュニアオーケストラの練習拠点施設として、運営を担う響ホールや、運	

営委員会とも連携し、年間を通して活動を支援。令和7年度は、チャリティーコンサートにおける北海道のHBCジュニアオーケストラとの交流演奏会の実現に向けて調整を行うことで、コロナ禍以降減少していた他団体との交流機会の創出に寄与した。また、「NHK アニメ 青のオーケストラ トークショー／ミニコンサート」（北九州ポップカルチャーフェスティバル）への出演依頼に応じて、練習・準備支援及び主催者であるNHK北九州との連絡調整を行い、円滑な実施とイベントの成功に貢献した。 ○北九州市少年少女合唱団・北九州をうたう会・劇団青春座・響ホール室内合奏団等、市が支援する各種文化団体への後方支援を継続	
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。 ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	3
【評価の理由、要因・原因分析】 ① 個人情報の保護に関する法律及びその他関連法規を遵守するとともに、当財団が策定した「個人情報保護規程」及び「情報セキュリティポリシー」を徹底し、必要かつ適切な措置を講じた。令和7年度においても個人情報の漏洩等は発生しなかった。 ② 「施設の使用許可に関する業務の基準」を誠実かつ確実に遂行し、利用者の公平・平等を確保した。利用申込が重複した場合は抽選により決定するなど、透明性・公平性に配慮した対応を行った。 ③ 該当なし（大手町練習場は利用者を限定しない施設であり、本項には該当しない。） ④ 使用料等の徴収及び市への納付並びに月例報告等各種報告書の作成・提出とも、適切に行った。 ⑤ 事務所のカメラにより練習室の状況確認を行い、利用者の安全管理・事故防止に継続して取り組んだ。各室出入口敷居の段差等、資機材の搬入や歩行の支障となる箇所には敷板を配置するなど段差解消策を講じた。また、利用前の室内・備品の状況点検を徹底し、安全・快適な利用環境の維持に努めた。令和7年度においても利用者に負傷が生じるような事故は発生しなかった。 ⑥ 大手町ビル施設管理課・防災センターとの協働により警察・消防への連絡体制を確保した。大手町ビル全体で行う防災・避難訓練（年2回）に参加し、職員全員で緊急時対応マニュアルを再確認するとともに周知徹底を図った。「火気関係」「閉鎖障害」	

についての日常点検・確認も継続して実施した。

- ⑦ 大手町ビル全体の防災・避難訓練（６月・１２月）への参加を通じ、事故発生時・非常災害時への対応能力の維持・向上に努めた。各種マニュアル・連絡網・帰宅困難者受入れ態勢を整備し、緊急時に適切に対応できる体制を維持した。令和７年度においても重大事故・災害への対応が必要となる事案は発生しなかった。

【総合評価】

【全体的な評価・今後の対応等】

◇全体的な評価

【トピック①：利用件数・稼働率の顕著な達成】

令和７年度は新たな指定管理期間の初年度として、利用件数 25,467 件（目標比 117.4%）・稼働率 51.4%（目標比約 117.6%）を達成した。電話仮予約受付の継続（ネットが苦手な利用者への配慮）・定期利用制度（安定した練習環境の確保）・キャッシュレス決済の継続が相乗効果として機能し、市民のための練習施設として確実に需要を取り込んでいる。

【トピック②：利用者満足度の極めて高い水準】

利用者満足度（100%）は要求水準（95%）・目標値（95%）をいずれも上回り、高水準を維持した。特にアンケート回収率 96%は統計的信頼性が極めて高く、結果の客観性が担保されている。質の高い施設サービスの提供により、「館内の清潔度」「設備・機器の安全性」「利用の円滑さ」「スタッフの応対」いずれも高評価を得ている。

【トピック③：施設使用料の増収】

施設使用料収入は前年比 106.6%の増収を達成している。新規の定期利用者も増加しており、広報強化・定期利用制度・電話仮予約等の利用促進策が収入面にも直結している。

【トピック④：安全管理の徹底】

個人情報漏洩・利用者負傷事故・重大事故対応が必要な事案のいずれも発生しなかった。大手町ビル防災センターとの緊密な連携、年２回の防災・避難訓練への全員参加、事務所カメラを活用した練習室のリアルタイム安全確認等、多層的な安全管理体制が適切に機能している。

【トピック⑤：地域文化団体への支援】

北九州市ジュニアオーケストラの練習拠点施設として、運営を担う響ホールや、運営委員会とも連携した活動支援や、市が支援する各種文化団体への後方支援を継続した。単なる施設管理にとどまらず、地域の文化振興拠点としての役割を着実に果たしている。

◇今後の対応

- 安全・安心な施設環境の維持に最優先で取り組むとともに、北九州市の令和８年度市政方針及び財政運営指針を踏まえ、省エネ・経費節減など持続可能な取り組みも継続していく。施設・設備の老朽化状況を把握し、北九州市と適切に情報共有を行いながら、計画的な修繕・対応に努める。
- 定期利用制度や電話仮予約の活用を通じた稼働率向上、財団 SNS を活用した効果的な広報活動の継続等により、引き続き利用者の増加と使用料収入の確保に取り組む。
- 職員の接遇力・専門性の継続的な向上を図り、北九州市ジュニアオーケストラをはじめとする地域の文化芸術団体との連携を深め、地域の文化振興を支える施設として市民に親しまれる大手町練習場の運営を推進する。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2		要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。